

# 全戦没者追弔法会

テーマ「往生をねがうしるし 世をいとうしるし 一親鸞聖人の教えと非核非戦の願いに聞く」

日時 4月16日(土)10:00~12:30

会場 御影堂 講師 姜尚中氏

宗祖御遠忌の年にお勤めする全戦没者追弔法会は、「往生をねがうしるし 世をいとうしるし一親鸞聖人の教えと非核非戦の願いに聞く」をテーマに開催します。講師に姜尚中氏(カン・サンジュン 政治学者・東京大学大学院教授)をお迎えします。



午後は視聴覚ホールにて、山陽教区の讃仰行事と共同して、姜尚中氏や平和問題に取り組む方々とともに非核非戦をテーマにシンポジウムを開催します。

法要では、宗門の歴史を真摯に尋ね、非戦の誓いをあらためて確認するとともに、自身の「世をいとう」姿勢を問い直していく大切な機会を共にいただきたいと思います。

## 非核非戦のつどい

日時：4月16日(土)13:30~17:00

場所：視聴覚ホール

広島、長崎へ原子爆弾が投下されてから65年。いまだ人類は核兵器を持ち続け、戦争・核実験・核施設の事故などで新たな被曝者を生みつけています。私達はいま、人間としてどのような社会をめざすのか。政治学者の姜尚中氏、「核兵器廃絶をめざす

ヒロシマの会」の森瀧春子氏、ドキュメンタリー映画監督の鎌仲ひとみ氏に、それぞれの現場から見える課題を聞きます。「非核非戦」という願いにつどう一人として、すべての戦争犠牲者・原爆被爆者が問いかけてくるものに向き合えるシナリオです。

パネリスト：姜尚中氏(政治学者)

森瀧春子氏(核兵器廃絶をめざすヒロシマの会共同代表)

鎌仲ひとみ氏(映画監督)他

コーディネーター：小谷信千代氏(大谷大学名誉教授)

日程：13:30 開会(勤行・挨拶)

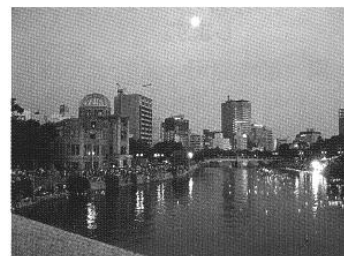
14:00 シンポジウム

16:45 閉会

……「非」は、親鸞聖人が「念仏停止」という宗教弾圧によって流罪となられたとき、自らの生き方の内容として宣言されたお言葉です。それは、「選び・嫌い・見捨て」続け、相対化し続ける私たちの生の現実を問い続ける言葉なのです。

今回、異業の3人を迎え、閉塞した世の中の行く末を、この「非」を通して探ります!そしてそれが、参加者それぞれの生きる現場で、個々の生き方のエネルギーとなることを願いとして——開催!

(山陽教区讃仰事業実行委員長 後藤明照さん)



京都まで往復貸し切りバスが出ます!(七組関係)

約30名募集します。奮ってご応募ください。詳細来月再掲載予定